

【公開保育の評価・自己評価】

法人・施設名称	園長名	作成日
社会福祉法人 都城市社会福祉協 議会 おおむたこども園	竹之下 良子	2024年12月12日

評価の記録（まとめ）

	評価者 A	評価者 B	評価者 C
良い点	<ul style="list-style-type: none">・他園ではがらんどろ・殺風景の保育室が今でも多数を占めているが、貴園には様々な遊具などが適切に配置されており、魅力適な保育室を形成している。・園庭も固定遊具だけでなく園児が選択できるように遊具などが用意されていた。また、木々も多くあり自然豊かな環境であった。・広い園庭であるが保育教諭が適切に配置されており援助だけでなく安全面の配慮もうかがわれた。・全体として、子どもの心情を大切に保育されていることが伺われた。	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが自由に選択して遊び、学ぶ環境を保育者が構成している点はこの園の参考にもなるものでした。・園内のハザードマップを作成し、適時更新することで、保育者が情報共有できる体制を整備されていた。・子どもたちは園外者へのあいさつがしっかりとできるとともに、自分たちの遊びや体験していることを説明できていた。日常の保育実践を通して、コミュニケーション力や社会性が育まれていることを感じとることができた。・子どもの成長、学びの連続性の観点から小学校との接続に取り組まれようとしている点について、今後さらなる展開を期待しています。・地域との交流による保育実践は今後も継続することで、いま以上に、子どもの好奇心や主体性を育てていくことを期待しています。	<ul style="list-style-type: none">・自然と共生する環境が素晴らしいと感じた・日々の生活はのんびりと周りの環境に支えられたながら流れている反面、子どもにとって必要と考える多種多様な玩具や作り込んだ遊具があり、子どもにとって魅力的であろうと感じた・室内のコーナーのつくりや見せ方がうまく、とても参考になった

改善点、及び更に期待する点	・当日だけの評価で申し訳ありません。年長組になるとある程度の集団でのルールのある遊び（ドッジボール、陣取りなど）を取り入れるとより楽しくなると思います。	・子どもの主体性や成長を可視化することで、他園の取組の参考となる情報を提供することを期待しています。	・コーナーが多様な分、職員が受け持ちの子どもの様子を把握することには工夫が必要だと感じた
評価を受けて	公開保育を終えて、職員それぞれが保育の振り返りを行うことができた。客観的に見つめることで、改善点や今後の課題がみえてきた。今回の参加者の意見や感想を参考に、日々の保育をより良いものとなるようにしたい。職員一人ひとりが園の保育の特徴や保育の良さを伝えられるようにしていくことも大事だと感じた。		